

○29年度の自己評価結果

<p>前年度の重点目標</p>	<p>「学力」と「人間力」を育成し、「文武両道」を実践する。その実現のために下記(1)～(2)に重点的に取り組む。          (1) 学力の育成（目標；基礎学力の定着と応用力の伸張。進路目標の実現）          ア. 授業力の向上          イ. 家庭学習習慣の確立          ウ. キャリア教育の推進          エ. 個に応じたきめ細かな指導          (2) 人間力の育成（目標；道徳性・社会性の向上。自己肯定感と帰属意識の涵養）          ア. 基本的生活習慣の確立          イ. 部活動の活性化          ウ. 学校行事の充実          エ. 人権教育の推進</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題 <small>(数値は割合を示す数値については、生徒、保護者、教員へのアンケート結果による。)</small>
<p>学習指導 (教務部)</p>	<p>①学習習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回学習時間調査の実施</li> <li>9月に家庭学習強化週間の設置</li> <li>授業での予習、課題点検の実施</li> <li>個人面談、学習相談の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月に比べて11月の家庭学習時間が、1年は減少、2・3年は増加という変化は、例年通りである。また、2年の増加分が昨年度より少ないのが気になる。</li> <li>アンケートの結果からは、教員の指導の意識が高くなった点と「情報がなくて、わからない」と答えた保護者が9%あった点が顕著である。</li> <li>課題（宿題）が出ていないはずはないが、家庭では課題がないと言っている生徒もいるようで、情報発信が必要であると考えられる。</li> <li>生徒が家庭で学習する習慣の定着を、粘り強く、保護者と協力して作っていく必要がある。</li> </ul>
	<p>②授業の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートを利用し、教員の自己点検、自己評価の実施</li> <li>授業参観しやすい環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートの質問「(先生は)分かりやすい授業を実施するよう努めているか」「かなりそう思う・少しそう思う」との回答が、1年84%、2年84%、3年81%であり、昨年度に比べて2年生は9%、1年生は3%増加し、3年生は6%減少している。一方、教員のアンケート結果では83%と昨年度より10%減少している。</li> <li>保護者の意見に、「教え方に差がありすぎる」とある。同じ科目を複数で教える場合、教科会等で活用し、教えるべき内容等統一を図っていく。</li> </ul>
	<p>③課題提出の厳守</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題予定・課題箇所の明示</li> <li>未提出者への提出指導の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は、各学年が事後の指導や課題の提示方法などの工夫を試み、目標の5%を達成できた。気を抜くことなく取り組む姿勢の指導を含めて、内容面の充実を図る必要がある。</li> </ul>
<p>進路指導 (進路指導部)</p>	<p>①進路情報の時宜を得た的確な提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の動向の把握</li> <li>進路情報の作成と提供</li> <li>「進路だより」の発行</li> <li>模試の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望調査、面談等により生徒の進路意識と進路実現意欲を理解するのに努めた。進路情報の提供に関しては、約8割の生徒、父兄という結果を得た。</li> </ul>
	<p>②補習、ドリカム教室等の行事の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年、教科と連携による、生徒の実態・要望に即した行事計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年の補習、ドリカムは生徒の進路に合わせ各種の講座を設定して、生徒の満足度も高い。1, 2年の早朝補習、ドリカムはさらに改善の余地あり。</li> </ul>
	<p>③希望する進路実現のための学力の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力上位層への計画的な指導と下位層への補充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力上位層にも特別な課題を与えるなどさらなる向上を図った。新しい学力層の入学により、その実態の把握と早急な対策を行ったが更に要観察。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題 <small>(表中の割合を示す数値については、生徒、保護者、教員へのアンケート結果による。)</small>
生徒会活動 (生徒会部)	①南高祭への積極的参加	・執行部、生徒議会、委員会の充実及び教員による指導	・学校評価アンケートの「生徒が南高祭に積極的に取り組めるよう努力している」の項目において、教員・生徒・保護者ともにそろって高評価であった。先生方の適切な指導と保護者のご理解が、生徒の活動を後押ししているため、今後も協力をお願いしたい。
	②部活動への積極的参加	・顧問の積極的な指導 ・試合結果の報告等の広報活動の充実	・県大会以上に出場する部が8つあり、運動部・文化部ともに大会等で活躍している。 ・2年生において夏休み以降に退部者が目立った。 ・保護者から「部活動を増やしてほしい」という意見もあり、新設の可能性を引き続き探っていきたい。
生活指導 (生徒指導部)	①身だしなみ指導の強化	・集会時や指導を受ける際の服装の徹底 ・校門における服装指導の実施 ・服装指導強化週間の年2回の実施	・生徒の88%が「身だしなみ指導をしている」と評価したが、職員は昨年度より11ポイントと大幅に減少している。職員全体で指導が行える体制づくりが課題である。
	②交通事故の減少	・早朝交通安全指導の実施 ・日本自動車連盟による交通安全講話の実施	・交通マナーに関する苦情が昨年より半減したが、交通事故発生報告数が昨年より15件増加した。自転車通学者への交通ルール遵守の意識づけが必要である。
	③いじめ防止を含めた人権教育の推進	・警察職員によるサイバー犯罪防止講話の実施 ・人権講話の実施 ・いじめの早期発見、事案への適切な対処	・全校生徒への警察職員による講話、ネットパトロール監視による不適切な投稿等をした生徒への指導を行い、一定の効果は出ている。 ・アンケート調査等で、いじめつながる可能性のあるものまで認知して早期対応し、いじめ防止に努めた。生徒の状況把握を十分に行うなど、さらなる早期発見のための取組を積極的に行う必要がある。
P T A活動 (総務部)	①P T A行事への参加促進	・P T A行事の参加数の増加 ・P T A行事の保護者への浸透	・すべてのP T A行事において、昨年度なみの参加者を得ることができた。しかし、まだP T A行事に関する認知度を高める余地がある。そのために「ホームページ」や「きずなネット」などを通じた後方の強化を図っていきたい。
防災教育 (総務部)	①生徒の防災教育の推進	・避難訓練シェイクアウト訓練への積極的な取組	・昨年度から引き続き、シェイクアウト訓練を実施するなど、例年以上に防災に向けての生徒の意識向上が達成できたと思われるが、来年度はさらなる意識向上をめざしたい。
学校保健 (保健厚生部)	①校内美化の推進	・清掃時間厳守の指導、巡回指導の実施 ・生徒美化委員会による清掃点検の実施 ・長期休業中の清掃活動の実施	・美化委員会を計画的に実施することができ、校内美化に対する意識を培うことができた。 ・1年生の環境整備では、生徒が主体的に取り組めるような事前指導を行うことができた。 ・生徒によって、清掃への取り組み状況やゴミの分別意識の違いがある。倫理観や奉仕の精神を持って取り組めるような投げかけを行う必要がある。
	②保健厚生部と学年との連携強化	・心身の不調を訴える生徒へのカウンセリング・マインドでの対応と全教職員の共通理解	・スクールカウンセラーとの連携は、昨年同様、円滑に図ることができた。 ・各会議（担任会・学年会・保健厚生部会・学年主任会・教育相談委員会）の中で生徒の情報交換を行い、生徒や保護者への対応も共通理解をもって臨むことができた。 ・保護者会で「教育相談だより」を配布し、相談活動の紹介を行い、保護者の方へも積極的に活用していただいた。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題 <small>(表中の割合を示す数値については、生徒・保護者、教職員のアンケート結果による)</small>
図書館活動 (図書部)	①図書の充実と 図書室利用者の 増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書指導の充実</li> <li>・月毎の貸出冊数の調査と公表</li> <li>・図書館の様々な企画と 広報誌『ライブラリー』による広報活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間貸し出し数が929冊に止まり、目標に達することができなかった。広報誌『ライブラリー』や『図書館報』による情報提供をさらに改善していきたい。</li> <li>・H28年度から新たに開始した「読書週間企画」と、従来のをより発展的に衣替えした「文化祭企画」を中心に、活発な活動を行うことができた。</li> </ul>
研修 (教務部)	①研究授業による 現職教育の 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な研究授業の実施</li> <li>・時間割変更の工夫</li> <li>・秋に研究授業期間を設定・計画的な研究授業の実施</li> <li>・時間割変更の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、研究授業週間以外にも初任研3名、5年研2名の研究授業があった。また、初任研の会場になるなど、さまざまな研究授業の機会が増えた。</li> <li>・校長先生の授業参観はとてもよい刺激になった。その後の評価シートによる反省も参考になった。</li> <li>・今年度は、研究授業の当日のアナウンスがなかったケースが有り、実施して頂いた先生には大変迷惑をおかけした。</li> <li>・研究授業への参観人数等を報告してもらう取組について検討していきたい。</li> </ul>

総合評価	<p>重点目標の達成を目指し、学校全体で取り組んだ結果、生徒・保護者に十分な満足感や達成感を与えることができた。多くの学校行事において積極的に活発な参加が得られ、充実した活動となった。特に学校祭には昨年同様に多くの保護者の参観があり、その関心の高さが顕著であった。</p> <p>進路指導では生徒・保護者への進路情報提供についての努力の成果が見られた。また、昨年に引き続きスクールカウンセラーの活用などを通して、学年や担任との連携が図られ、より相談活動が充実した。</p> <p>しかしながら、家庭学習時間の減少の背景には昨今のスマホと生徒の関係も見て取れ、生徒の生活全体も視野に入れての指導方法についての必要性を認識している。</p> <p>なお、保護者・地域への情報発信については、ホームページの更新がまだ不十分であった。リアルタイムでの情報提供にいつそう努める必要がある。</p>
------	---

○平成30年度の学校評価（評価項目）

<p>本年度の重点目標</p>	<p>「学力」と「人間力」を育成し、「自己実現」を図る。その実現のために、下記(1)～(3)に取り組む（重点目標は各項目のア）</p> <p>(1) 学力の育成（目標；基礎学力の定着と応用力の伸張。進路目標の実現）</p> <p>ア. 授業力の向上（思考力・判断力等の育成をめざした発問等の工夫）</p> <p>イ. 家庭学習習慣の確立</p> <p>ウ. キャリア教育の推進</p> <p>エ. 個に応じたきめ細かな指導</p> <p>(2) 人間力の育成（目標；自己肯定感と帰属意識の涵養。道徳性・社会性の向上）</p> <p>ア. 学校行事の充実（南高祭を創立40周年記念事業として位置づけ）</p> <p>イ. 部活動の活性化</p> <p>ウ. 基本的生活習慣の確立</p> <p>エ. 人権教育の推進</p> <p>(3) 教職員の多忙化解消（目標；月刊在校時間80時間超ゼロ）</p> <p>ア. 勤務の割り振り変更・振替・年休の活用促進</p> <p>イ. 業務の見直しと再構築</p> <p>ウ. 安全衛生委員会との連携</p>		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>学習指導 (教務部)</p>	<p>①学習習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回学習時間調査の実施</li> <li>・9月に家庭学習強化週間の設置</li> <li>・授業での予習、課題点検の実施</li> <li>・個人面談、学習相談の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が家庭での予習、復習を十分おこない、授業に参加しているか、調査をする。</li> <li>・1週間の家庭学習時間が目標時間を越えているか、調査をする。</li> </ul>
<p>②授業の質の向上</p>	<p>②授業の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケートを利用し、教員の自己点検、自己評価の実施</li> <li>・授業参観しやすい環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員が、分かりやすい授業を実施するよう努めているか、生徒への授業評価アンケートを行う。</li> <li>・秋に研究授業期間を設定し、各教科2名の先生方が実施。</li> </ul>
<p>③課題提出の厳守</p>	<p>③課題提出の厳守</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題予定・課題箇所の明示</li> <li>・未提出者への提出指導の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末課題の未提出率が目標値を下回ったか、毎週迅速に集計をし、個別指導等に役立てる。</li> </ul>
<p>進路指導 (進路指導部)</p>	<p>①進路情報の時宜を得た的確な提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の動向の把握</li> <li>・進路情報の作成と提供</li> <li>・「進路だより」の発行</li> <li>・模試の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望調査、面談等により生徒の進路意識と進路実現への意欲の把握に努めた。</li> <li>・進路情報の提供に関しては、約8割の生徒、父兄という結果を目標にする。</li> </ul>
<p>②補習、ドリカム教室等の行事の充実</p>	<p>②補習、ドリカム教室等の行事の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、教科と連携による、生徒の実態・要望に即した行事計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年の補習、ドリカムは生徒の進路に合わせ各種の講座を設定する。1, 2年の早朝補習、ドリカムはさらに改善する。</li> </ul>
<p>③希望する進路実現のための学力の獲得</p>	<p>③希望する進路実現のための学力の獲得</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力上位層への計画的な指導と下位層への補充</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力上位層にも特別な課題を与えるなどさらなる向上を図る。新しい学力層の入学により、その実態の把握と早急な対策を行う。</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒会活動 (生徒会部)	①生徒が主体的に取り組むことができる行事の基礎づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各行事要項の改善</li> <li>・生徒会部での情報の共有</li> <li>・反省に基づいた来年度行事要項の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会部員が各行事を見直し、根拠のある計画及び運営、他教員との情報共有に努める。</li> </ul>
	②本校や周囲の環境に応じた部活動運営の基礎づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内規の見直し</li> <li>・施設、設備の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品、施設、内規を生徒会部員が把握・管理できていたか調査する。</li> </ul>
生活指導 (生徒指導部)	①身だしなみ指導の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会時や指導を受ける際の服装の徹底</li> <li>・校門における服装指導の実施</li> <li>・服装指導強化週間の年2回の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイバー犯罪防止教室の全校生徒集合時において、全教員による服装指導を実施する。</li> <li>・服装指導強化週間や登校時のみ服装を正すという意識を持たせないように、STや授業開始時、廊下等での出会い頭での指導も実施していく。</li> </ul>
	②交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝交通安全指導の実施</li> <li>・日本自動車連盟による交通安全講話の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時の合羽未着用者のチェック指導を引き続き実施し、合羽着用の徹底を図る。</li> <li>・登下校時の立番指導日を増やし、交通法規や交通マナー遵守の徹底を図る。</li> </ul>
	③いじめ防止を含めた人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察職員によるサイバー犯罪防止講話の実施</li> <li>・人権講話の実施</li> <li>・いじめの早期発見、事案への適切な対処</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と連携して、「スマホ・携帯・PC使用ガイドライン10」の遵守を呼びかけ、ネットマナー確立に取り組む。</li> <li>・ネットパトロールによる監視を行い、不適切な投稿等の早期発見に努める。</li> <li>・学校生活環境調査を実施し、生徒の学校生活における諸課題を早期に収集し、いじめなどの重大事案の早期発見、適切な対応に結びつける。</li> </ul>
P T A 活動 (総務部)	①P T A 行事への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P T A 行事の参加数の増加</li> <li>・P T A 行事の保護者への浸透</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P T A 総会、授業公開の内容の充実を図るとともに円滑な運営を工夫する。</li> <li>・「きずなネット」「学校HP」などを利用することで、幅広い広報活動を積極的にすすめて、保護者への周知徹底を図る。</li> </ul>
防災教育 (総務部)	①生徒の防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練シェイクアウト訓練への積極的な取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練やシェイクアウト訓練などを通じて生徒の防災にむけてのさらなる意識向上をめざす。</li> </ul>
学校保健 (保健厚生部)	①校内美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常清掃・大掃除の徹底</li> <li>・ゴミの分別・減量の徹底</li> <li>・美化委員会の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃時間の厳守と清掃活動の充実</li> <li>・部活動場所・更衣場所の環境整備</li> <li>・ゴミの持ち帰り及び分別指導の強化</li> <li>・美化委員による委員会活動の充実</li> </ul>
	②保健厚生部と学年との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校不適応生徒の早期発見・早期対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校不適応生徒への対応について、健康観察の充実及び学年会との連携強化、教育相談委員会での情報共有を徹底</li> <li>・スクールカウンセラーの活用などによる相談活動の充実</li> </ul>

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
図書館活動 (図書部)	①図書の充実と 図書室利用者の 増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書指導の充実</li> <li>・月毎の貸出冊数の調査と公表</li> <li>・図書館の企画と広報誌『ライブラリー』による広報活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蔵書の年間貸し出し数の目標を、1000冊としたい。</li> <li>・H28年度からの図書館の新しい企画を今年度も継承し、発展させて、広報活動の充実を図りたい。</li> </ul>
研修 (教務部)	①研究授業による 現職教育の 充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な研究授業の実施</li> <li>・時間割変更の工夫</li> <li>・秋に研究授業期間を設定・計画的な研究授業の実施</li> <li>・時間割変更の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初任研・10年研の研究を含め、研究授業週間内での各教科代表の研究授業もあり、実践する者と、参観する者のお互いが、授業改善に役立てる。</li> </ul>
多忙化解消 (管理職)	①長時間勤務の 軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退校時間の厳守</li> <li>・考査時間を利用した、早めの退校時間の設定</li> <li>・会議の実施の有無の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時、午後7時30分校舎施錠を徹底する。</li> <li>・休暇取得の呼びかけを、時機を得て繰り返す。</li> <li>・議案を勘案し、開催の必要の無い運営委員会や職員会議は、予定にあっても実施しない。議題が少ない場合は、次回に回すか、稟議(回覧など)、職員朝礼で行う。</li> <li>・安全衛生委員会と連携し、課題把握に努める。</li> </ul>